

# 府障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 2016年度

### 府障教定期大会

府障教は5月14日、大阪府教育会館において2016年度定期大会を開催しました。

執行委員長のあいさつに続き、来賓として、障害者(児)を守る全大阪連絡協議会(障連協)代表幹事の井上泰司さんから、連帯のあいさつがありました。

討論では11分会4専門部、16人が発言しました。討論を受けての採決により、すべての執行部提案が圧倒的多数の賛成を得て決定しました。市障教との発展的組織再編について「に伴う規約改定案の採決は、満場一致での可決となりました。

# 憲法違反の「戦争法」を廃止し、立憲主義をとりもどそう！ すべての子どもの成長と発達を保障する教育を発展させよう

## 府障教 定期大会



あいさつする戸田執行委員長

開会あいさつの中で戸田委員長は、7月の参議院選挙で安倍政権は、改憲の発議に必要な3分の2以上の議席を獲得し、本気で明文改憲をねらっていると述べました。その上で、戦争法を廃止して、立憲主義と民主主義の政治を取り戻すためにも、すべての教職員に参政権の積極的な行使を呼びかけようと訴えました。

討論では、「開校2年目で教室転用している。誰もが府の計画性に疑問を持っている」(枚方・佐々木代議員)、「東大に学校建設を求める請願

が、府議会は不採択とした」(東大阪・杉本代議員)、「医師がならず、医療機器も整わない学校現場で、子どもの命を守る看護師さんが、正規職員となるよう頑張っている」(箕面・藤嶋代議員)など、十分な教育条件整備による深刻な実態や、その改善にむけたとり組みが語られました。

また、組合同士のつながりを強固に、要求実現を当局に迫っていく今回の発展的組織再編は、二つの教職員組合の歴史的経過からも当然だと大手前・西田代議員)、「府移管強行を受けた発展的組織再編の議案を深める発言もありました。

「全職員対象の要求アンケートで要求書をつくり、学校長との懇談を行った」(堺支援：中野代議員)、「賃金や、障害児学校に設置基準が無いことは分かりやすい。分かりやすい組合活動をやっていきたい」(泉南・奥野代議員)、「新転任者大丈夫だよ！ランチパーティー」などで、青年に組合の加入書を書いてもらうことができた(堺聴覚：玉城代議員)、「キャリア教育について意見交換する中で、人格づくりにつながるライフキャリアの視点を大事にしようとい

う議論ができた」(豊中：中島代議員)など、職場の多彩なとり組みも報告されました。

専門部からは、3年後には、初任4年目以下の若い人たちが栄養教諭の半分以上を占めることになる。「栄養職員部：武田代議員)、「大障教となってからも市障教の実習教員と力を合わせていきたい」(実教部：田中代議員)、「母性保護アンケート」では、不妊治療を受けている人が予想以上に多かった。大阪府でも特休が認められるよう強く要望していきたい(女性部：池側代議員)などの報告がありました。

さらに今回は、5人の青年が討論に参加しました。分会青年部長として、「みんなが楽しい職場をつくり」を目標に活動していきたい(佐野：芝田代議員)、「無職になった仲間が、暗闇に突き飛ばされたような感じがする」と言っていた。すべての人が明日を安心して暮らせる社会が本当の平和だと思(臨対部：小島代議員)、「新しく来た人たちが失敗も成功もできるような職場をつくりたい」と話合っている(富田林：竹内代議員)、「講師から教諭になって、自分がやってもらったことを若い先生に恩返しとしてやっていこうと思った」(富田林：大城代議員)、「私に子どもの方、接し方などを教えてくださったのは、周りの先輩の先生方だった。ベテランの先生方はぜひ青年とたくさん話をしてほしい」(青年部：松石代議員)、「こうした青年の発言に、多くのベテラン代議員が勇気づけられる大会となりました。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



オバマ大統領が、米国の現職大統領として初めて広島を訪問することが発表され、被爆地・広島市民からも歓迎の声が上がっています。昨年8月6日の広島市の「平和宣言」では、オバマ氏ら各国指導者の被爆地訪問を求めています。多くの広島市民の願いは、核兵器が存在する限り、いつ誰が被爆者になるか分からない(同宣言)という痛切な思いをふまえた、核兵器の禁止・廃絶です。その実現のためには、核兵器禁止条約などの法的枠組みづくりに向けた国際交渉を開始しなければなりません。オバマ氏と、同行する安倍首相が、こうした課題に正面から向き合えるかどうか、その姿勢が厳しく問われています。

オバマ氏が広島訪問を決めた背景には、原爆投下をめぐる米国内の世論の変化もあります。米国では、広島・長崎への原爆投下が戦争の早期終結につながり、多くの米国民の命を救ったと正当化する考えが根強くあります。しかし、被爆者などによる、核兵器の非人道性を問い、その廃絶を求める運動が世界で広がるにつれて、こうした世論も変わってきました。1945年8月の世論調査では、米国民の85%が原爆投下を支持していましたが、昨年4月に行われた調査で、原爆投下が正しかったとした人は56%、18~29歳では47%まで減りました。ニューヨークタイムズやワシントン・ポストなど、米国の主要紙も今回の広島訪問を支持しています。

核兵器禁止条約の国際交渉開始を求める世界の声に背を向けてきた日米両政府が、これまでの態度を改めてこそ、文字通りの「歴史的訪問」となるはずですよ。

# 第87回大阪メーデー

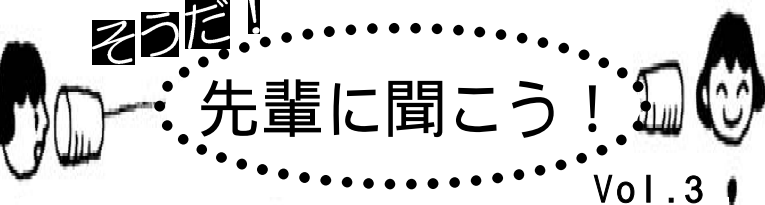
# 働くものの団結で 大幅賃上げを実現させ、安倍政権の暴走をストップさせよう

87回目を迎えたメーデー



働くものの団結で生活と権利を守り、戦争法を廃止し、立憲主義・民主主義を取り戻そう  
第87回大阪メーデー  
「憲法をみんなで守るために立ちあがり！」  
「ついに戦争法廃止の力！ 憲法を守ろう！」

扇町公園では、「戦争法ストップ」「労働法制改悪反対」などの要求が書かれた、多彩な横断幕やプラカードで会場が埋め尽くされました。主催者を代表して開会あいさつをした川辺和宏さん(大阪労連議長)は、熊本地震の犠牲者に哀悼の意を表し、被災地支援と復興への協力を呼びかけました。そして、「戦争法反対・立憲主義を守れ」を掲げて様々な分野で国民の共同が進む中、7月の参議院選挙は政治の流れを変える重大な局面だと強調しました。その上で、住民投票や大阪ダブル選挙の到達・教訓を踏まえ、たたかいを大きく展開し、アベ政治ノミ、維新政治ノミの壮大な流れを再構築しようと呼びかけました。



## 先輩に聞こう！

Vol.3

ぼくは、趣味がないので悩んでいます。このまま仕事を続けられるでしょうか？

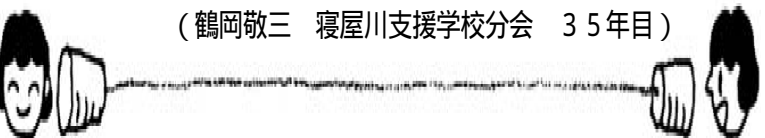
芝田隼人(佐野支援学校分会) 4年目

芝田先生、お疲れ様です。私は寝屋川支援学校の鶴岡といひます。支援学校は28年目。若いころからいろいろなことに興味を持ち、ウインドサーフィン、カヌー、スキー、釣り、自転車などに手を出しました。50歳で始めたギターもぼちぼちですが続いています。

支援学校へ転勤したところの青年部主催のスキーなど楽しい思い出ですが、今は年に1回、夏休みにカヌーで四万十川を川下りするのが楽しみです。もともとは、職場の夏の教研として始めたのですが、職場が変わっても当時のメンバーを中心に新しい人を巻き込んで、何年も続けています。

毎年同じコースを下り、同じ民宿に泊まりますが、その年々で違う川の表情と入れ替わるメンバーの川下りを楽しむ四万十カヌーに魅了されています。芝田先生も同じ職場の中で、趣味を共用できる方がいらっしゃるといいですね。よかったら、今夏、いっしょに四万十川に行きませんか？

(鶴岡敬三 寝屋川支援学校分会 35年目)



5月1日、国民共同の力で戦争法を廃止し、安倍政権の暴走をストップさせよう」と訴え、全国各地で第87回メーデーが開催されました。大阪では扇町公園をはじめ、府内各地で地区メーデーが開かれ、扇町公園には8000人、地区メーデーを合わせると約1万5000人が参加しました。また、東京の代々木公園で開催された中央メーデーには、3万人以上が参加しました。

## 何としても戦争法を廃止しよう

扇町公園では、「戦争法ストップ」「労働法制改悪反対」などの要求が書かれた、多彩な横断幕やプラカードで会場が埋め尽くされました。主催者を代表して開会あいさつをした川辺和宏さん(大阪労連議長)は、熊本地震の犠牲者に哀悼の意を表し、被災地支援と復興への協力を呼びかけました。そして、「戦争法反対・立憲主義を守れ」を掲げて様々な分野で国民の共同が進む中、7月の参議院選挙は政治の流れを変える重大な局面だと強調しました。その上で、住民投票や大阪ダブル選挙の到達・教訓を踏まえ、たたかいを大きく展開し、アベ政治ノミ、維新政治ノミの壮大な流れを再構築しようと呼びかけました。



工夫を凝らしたデモレーション

## 命と暮らしを優先する政治の実現を

決意表明では、大阪憲法会議・全大阪消費者団体連絡会(消団連)・大阪市労働組合総連合(大阪労組連)の代表が発言しました。大阪憲法会議の丹羽幹事長は、戦争法の廃止を求め、統一署名の大阪の集約数が142万6699筆に達したことを報告し、4月30日現在、目標の200万筆達成に向けて、さらなるとりくみを呼びかけました。消団連の飯田事務局長は、国民に正確な情報を公開しないまま、TPP(環太平洋連携協定)を批准しようとしている安倍政権の姿勢を厳しく批判しました。

また、大阪市労組連の実森委員長(市障教)は、大阪市内の組合事務所裁判勝利に向けた運動について報告しました。

集会の最後に、「人の命とその尊厳、暮らし優先の政治を実現するために、参議院選挙で安倍政権とおおさか維新政治に退場を求め、たたかいに総力をあげよう」となると訴える、第87回大阪メーデー宣言案)が満場の拍手で採択されました。

また、実森委員長は、行政の裁量を無制約に認めた大阪高裁判決の不当性について述べ、「労働組合への攻撃に対しては、一歩も引くことはできない」と力強く決意表明しました。

集会後参加者は西梅田公園・天満橋の2コースに分かれ、全ての労働者の大幅賃上げを行え、ブラック企業をなくそうなどと力強くシュプレヒコールを行いながらデモ行進しました。



扇町公園には8000人が集まりました